

Let's 男尊女尊!

メッセージ2008

最近!眉を描いて楽しく仕事をしている人がいます。(男性)
化粧は勇気を与えます。
化粧は心を健康にします。
化粧は人を元気にします。
女も男もですね。



青木 昭子さん
(株) 眞生堂
ビューティーソリューション開発センター
ソーシャルビューティーケア推進グループ

これからの社会は、男らしさ、女らしさの縛りから自由になって、お互いの個性を尊重し合える人間関係、社会づくりがますます大事になっていくでしょう。男女共同参画センターは、このメッセージを社会・地域に向けて発信しつづける貴重な場です。今後、いっそうの発展を期待しています。



小柳 茂子さん
相模女子大学 人間心理学科 教授

MIW の活動を拝見していると、志を高く、地道に誠実に行動し続ける事がいかに大切かが改めてわかります。国、人種、女、男の隔たりなくお互いを認めあい、ありのままの自分を大切にしておしみつつ生きてゆける世界になるように、日々を共に歩んで参りましょう。



郡司 ひとみさん
コーディネーター・カウンセラー

若者の間では、「女性差別」も「男尊女卑」も死語だといひます。でも、ちょっとマテマテ。一步社会に出てみれば、そこにはまだまだ旧態然の世の中が。21世紀、男性も女性も、「ワーク」と「ライフ」の調和がとれた暮らしのできる社会をめざして! Let's 男尊女尊!



渡邊 千尋さん
財団法人 人権教育啓発推進センター

もう男女差別なんてない、と多くの人が言います。そうでしょうか?家庭や職場を見直してみてください。性別役割分担に縛られたり、女は、男はこうあるべきという規範にとらわれていませんか。性による縛りから解放されて、自由に、豊かに生きられる社会を望みます。



江刺 昭子さん
女性史研究者

暴力や虐待の問題を抑止していくためには、この問題を多くの人に知らせ、関心をもってもらうことが第一歩です。限られた世代、限られた主張を持った人だけでなく、若い世代や男性たちも積極的に関わり、何か行動を起してくれば嬉しいと思います。



瀧田 信之さん
海南DVサポートセンター代表



千代田区男女共同参画センター

MIW

開設10周年

共働きですが、家事は家族全員で分担しています。妻は料理と洗濯、僕は食器洗いと掃除。6才の息子はゴミ出しと段ボールまとめをやってくれます。彼が社会に出る頃には、今より男尊女尊が進行していることでしょう。オクテな息子にとっては試練の日々かもしれません。



大橋 悦夫さん
仕事を楽しくするディレクター
ブログ「シゴタノ!」管理人

私たちの身近では、DV、セクハラ、虐待、いじめ、パワハラ、モラハラなど様々な暴力が起きています。相手を尊重していれば、その人に暴力をふるうことは決してありません。社会に尊重を増やし、暴力をなくしていきたいと心から願っています。



中島 幸子さん
NPO レジリエンス代表
(www.resilience.jp)

新しい生命の誕生は、男性、女性とのハーモニーから生まれます。どの様に社会構造が変化しようと、この自然界の基本は変わりません。21世紀を担う、共同参画とは、男女が互いの能力を生かし合った、尊敬と協調! これからの社会の新しいスタイルであってほしいと願います。



小俣 多江子さん
NPO 法人 おむすびママの会 理事長

将来にわたり活力ある日本をつくるためには、すべての人が、喜びや責任を分かち合い、個性や能力を発揮できる「男女共同参画社会」の実現が大変重要です。このため、女性の参画拡大や、仕事と生活の調和の推進などに、皆様とともに全力で取り組んでまいります。



中山 恭子さん
内閣府特命担当大臣
(少子化対策、男女共同参画)

この一年間にお世話になった方々から MIW に素敵なメッセージが届きました。あなたの心に響くメッセージを、みつめてください。



山田 正人さん
独立行政法人 経済産業研究所
総務副ディレクター

「あなたにとってメリー(楽しいこと、幸せ、夢)とは何ですか?」世界中の人々に質問して笑顔撮影しています。一人ひとりのメリーを大切に個性や能力が尊重されメリーな社会の実現を願う。男女問わず笑顔が増え世界中がメリーになること。人を幸せにする笑顔力を、信じています。



水谷 孝次さん
アートディレクター
メリー・プロジェクト代表

女性と子どもたちが大切にされる社会は男性にも生きやすい社会。人と自然、男性も女性も尊重された地域社会の創造が Saya-Saya のミッションです。暴力でないコミュニケーションの為に私たちは、「新しい言葉、新しい文化を創造していきましょう!!」



松本 和子さん
NPO 法人・女性ネット Saya-Saya
(共同代表)

私たちは、些細なことから誤った信念を持ってしまふことがある。そして、誰かがそれを変えようとすると、意地になって反発してしまう。「男なんだから・・・」「女のくせに・・・」実は、そんな時に必死になって守ろうとしているのは、崩れかかっている小っぼけな自尊心なのだ。



金子 雅臣さん
労働ジャーナリスト

結婚して何ですか、なぜ結婚するんですかという、40代の独身男女に最近よく責められる。中年夫婦の無残な話を書く私も悪いけど、ラストには必ず再生の光を当てている。結婚は男と女が高め合い反目しながら進化する、人生のギャンブルだ。さあ、思いきって結婚しましょ。



西田 小夜子さん
作家・定年塾主宰

♪雨あがりの虹 夜空の星 あなたと見上げたいだけよ このままだつまでも
♪地震 雷 恐くはない これからも僕が君を守る このままだつまでも
♪君と あなたと いつまでも・・・
妻の詩に僕が曲をつけました。男女思いやり許し学び喜び愛を奏でましょう。



にしむら なおとさん
音楽家(ウクレレわらべうた)
音楽療法士



早野 知加子さん
まつしま病院 産婦人科医

10周年 おめでとうございます。だれもが肩肘を張って生きている世の中ですが、仕事を持つ人も家庭を守る人も自分の生活を大切に、老若男女ほんのもう少し周りの人を気遣うことができ、明日は今日よりちょっとだけでも暮らしやすくなりますように。